

かめのり多文化共生塾 2025

-多文化共生地域ネットワーク支援事業-

募 集 要 項

1. 趣旨・目的

2024 年末の在留外国人数は 370 万人を越え、過去最多を更新しました。国籍や在留資格、年代・世代は年々多様化が進展しており、日本で暮らす外国人の直面する課題は多岐に及んでいます。政府は 2018 年から「外国人との共生社会実現のための総合的対応策」をとりまとめ、各省庁で外国人との共生社会に必要な施策に予算を充てるようになりました。また自治体や助成財団も委託や補助、助成を通して外国人との共生のための取り組みの拡充を促しています。

しかし、そうした財源を活かして地域のニーズに応える取り組みは十分に展開されているとはいえません。これまで日本における外国人は、「移民」として正面から受入れるものではなく、日系人や技能実習生といった「例外的」なものでした。政府が来日後の環境整備に取り組んだのは 2019 年度からで、地域で暮らす外国人への支援はこれまで長く、ボランティアや家族、近所の人ができる範囲で細々と行うものでした。ボランティアが資金を持ち出して日本語を教えたり、子どもが親の通訳のための学校を休んで病院へ行ったりすることがいまだ美談として語られている状況です。

かめのり財団ではこのような状況から、地域で多文化共生を進める担い手の育成とその取り組みを支えるネットワークや財源の提供が急務と考え、2022 年度より「多文化共生地域ネットワーク支援事業」を立ち上げました。また参加者が企画・立案した事業を対象に、これまで 29 の団体・個人の取り組みに助成を実施しました。

外国人受入れの流れはさらに加速しており、また家族の帯同や在留の長期化に伴う課題の多様化、外国人の居住する地域の拡大も進んでいます。本年度の「かめのり多文化共生塾」はそうした背景を鑑み、外国にルーツのある人が担い手として参画する取り組みに焦点をあて、課題分析や企画立案に必要なスキルを集中的に学ぶことで地域の担い手の質と量の拡充をめざすとともに、他地域の担い手との相互研鑽とネットワーク形成を目的とした研修を、東北・中部・九州の 3 カ所で 2 日間にわたって実施します。本事業によって地域社会が一段階進化し、外国人も日本人もともに地域の担い手として活躍する真の共生社会形成の一助となることを願っています。

2. 概要

持続可能な地域づくりをめざす担い手育成のための 「かめのり多文化共生塾 2025」

- ・ 地域の担い手に必要な多文化共生分野の知識について、先行して取り組む事例を学びます。
- ・ 地域の課題を解決するための取り組みについて、参加者自身で事業計画を企画、発表します。
- ・ 発表内容について受講生同士が相互に評価するとともに、開催地で多文化共生の取り組みに長年、研究や実践を通して携わってきたコメンテーターから助言を頂きます。
- ・ 多文化共生分野で長年実践に取り組んで来た田村太郎（ダイバーシティ研究所・代表理事）が統括コーディネーターを務めます！

3.日程およびプログラム

- オンライン研修：全会場共通の研修です。必ず受講してください。
 - 日時 2025年9月5日(金)10:00～16:00
 - 内容 ZOOMによる講義およびブレイクアウトセッションを用いたグループ演習
 - 講師 田村太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所・代表理事）
 - プログラム

時間	内容
10:00	開会・オリエンテーション
10:10	基本解説(1)「多文化共生のこれまでとこれから」
11:40	グループ演習(1) 地区ごとの参加者交流 ブレイクアウトルームに分かれたランチセッション
13:00	基本解説(2)「課題解決型事業の考え方」
14:30	グループ演習(2)「課題リサーチのプランづくり」
15:30	全体ふりかえり・事前課題の解説
16:00	終了

- 対面研修（いずれか1カ所にご参加ください）

	時間	東北（仙台）	中部（四日市）	九州（北九州）
1 日 目	13:00～13:15	開会、オリエンテーション		
	13:15～14:45	ケーススタディ「多文化共生分野の実践事例に学ぶ」		
		横田シルビア 坂本裕美 (Vamos Papear)	マリア・アラウコ (外国人防災リーダーズ)	章潔 (伊万里市)
	15:00～15:30	演習解説「事業計画のブラッシュアップ」		
	15:30～17:00	演習（受講生が多文化共生分野での課題解決型プランを作成）		
	17:00～18:00	意見交換・質疑応答		
	18:00～20:00	懇親会		
2 日 目	9:00～11:00	事業計画の発表と相互評価		
	11:00～12:30	コメンテーターによるフィードバック		
		李善姫 (東北大学 DEI センター)	宇藤美帆 (三重県国際交流財団)	堀美幸 (JICA 九州)
	12:30～13:45	クロージングセッション（ランチを交えて）		
13:45～14:00	閉会式、修了証書授与、記念撮影			

- * 研修内容および時間は、諸事情により変更になる可能性があります。
- * 東北会場は宿泊型ではありません。ホテルなどは各自でご手配いただきます。
- * 中部・九州会場は宿泊型です。開会から閉会まで、施設に宿泊にて参加いただきます。日帰りでの参加は原則としてできません。

4.開催場所

- 東北会場：2025年9月29日(月)～30日(火)
仙台市市民活動サポートセンター (<https://sapo-sen.jp/access/>)
- 中部会場：2025年11月13日(木)～14日(金)
国際環境技術移転センター (<https://www.icett.or.jp/foruse/#access>)
- 九州会場：2025年12月8日(月)～9日(火)
JICA九州センター (<https://www.jica.go.jp/domestic/kyushu/office/access.html>)

5.募集人数・条件

- ・ **定員：各20人**（団体からの参加は1団体2名まで可とする）
応募者が多数の場合は抽選を行います（先着順ではありません）
- ・ **対象：多文化共生分野で2026年度に具体的に取り組みを実施する予定の団体または個人**
参加団体の法人格の有無や種類は問いません。
外国にルーツを持つ人や外国にルーツを持つ人が主体的に参加する団体からの参加を優先します。
- ・ **参加条件**
 - ① **共通オンライン研修の受講**
 - ② **事前課題の提出**
受講決定後に送付する「事前課題記入シート」（取り組みを実施する地域の調査、実施予定の事業の概要など）を作成し、共通オンライン研修での解説を元に対面研修までに提出すること
 - ③ **全日程の会場での参加**（一部参加やオンライン参加は認めません）
- ・ **参加費：無料**
- ・ **参加者にかかる経費：下記の費用は自己負担となります**
 - ① 会場までの交通費
 - ② 研修中の食費
- ・ **補助制度について（東北会場のみ）**
交通費及び宿泊費の一部に充当する費用として、参加者1人につき1万円を補助します。
補助金は研修終了時に現金にてお支払いします。

6.お申込み

- ・ 両会場共に、下記のリンクより必要事項を入力の上お申込みください。参加の可否は後日、事務局よりご連絡します（申込締切：8月18日正午）
<https://forms.gle/RDyTEpajYxyZsJhu9>

7.お問い合わせ先

k-seminar@diversityjapan.jp
（一般財団法人 ダイバーシティ研究所：事業実施受託団体）

以上